

大会注意事項

- ① 大会でベンチに入れる人員は、登録されユニホームを着用した監督、コーチ、選手及びユニホームを着用しないチーム代表者（引率責任者）、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）の各1名とする。
- ② ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。攻守は当該試合の球審立会いのもと、両チームの主将により攻守を決定する。開始予定時刻30分前までとする。
- ③ ベンチ内での電子機器（携帯電話・パソコン等）及び携帯マイクの使用を禁止する。メガホンは1個に限り使用を認める。
- ④ 試合は5回戦とし、1時間20分を過ぎて新しいイニングに入らないこととする。正式試合の成立は3回完了時とするが、3回以前でも規定時間に達したならば、試合は成立する。5回を完了時又は制限時間を過ぎて同点の場合は、延長戦は行わず、タイブレーク方式を行う。無死1・2塁、継続打順で最大1イニングまで行い、勝敗が決しない場合は監督による抽選によって勝敗を決する。ただし、決勝戦にかぎり抽選を行わず勝敗が決するまでタイブレークを続ける。得点差によるコールドゲームはすべての試合において3回終了時10点差、4回7点差とする。
- ⑤ 抗議のできるものは、監督か当該プレーヤーとする。監督に限り、グラウンドに出て指示をすることができる。なお、小走りでスピーディーに行うこと。
- ⑥ タイム制限・・・監督が、1試合に投手のところに行ける回数は2回とする。なお、特別延長戦は2イニングに1回行くことができる。攻撃側のタイムは1試合に2回以内とする。なお、特別延長戦となった場合は、2イニングに1回とする。捕手を含む内野手が1試合に投手のところへ行ける回数を2回以内とする。なお、特別延長戦となった場合は2イニングに1回行くことができる。
- ⑦ 監督不在でも試合は認めるが、代理の場合は、登録されたコーチが「代理」と必ず打順表に明記すること。
- ⑧ 金属・ハイコン（複合）バットはJ.S.B.Bのマークをつけた公認ものに限る。
- ⑨ 捕手は連盟公認（J.S.B.B）のマスク（スロートガード付）、レガーズ、プロテクター、SGマークのついた捕手用ヘルメット及びファウルカップを着用すること。シートノックがある場合も同様とする。なお、補助員もSGマークのついた捕手用ヘルメットを着用すること。また、大人でもよいが、ユニホーム着用者とする。
- ⑩ スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。なお、運動靴でもよいこととする。
- ⑪ 打者、次打者、走者は両側にイヤーフラップのついたJ.S.B.Bのヘルメットを着用すること。なお、ベースコーチも着用すること。
- ⑫ 監督、コーチ、選手は全員同色、同形、同意匠のユニホーム、帽子、同色のアンダーシャツ、同形同色のストッキングでなければならない。ただし、合同チームの場合はこの限りではない。
- ⑬ 打者は速やかにバッタースボックスに入ること。なお、サインはバッタースボックス内で見ること。また、次打者は必ず次打者席に入ること。投手も必ず実行すること。
- ⑭ 暑さ対策の一環として、一方的な試合になった場合、審判・控え審判・役員の判断により、試合を中断し守備側のチームに休息を与える場合がある。
- ⑮ 詳細の運営規則・競技規則は、当連盟発行の「競技運営に関する規則・大会特別規則・審判長注意事項」による。【投球制限：4年生以下は60球以内】